

電子書籍フォーマット EPUB のアクセシビリティに関する JIS 制定

—障害等の理由により印刷された書籍を読めない人のために—

2022 年 8 月 22 日

印刷された書籍が読めない人でも読むことのできる電子書籍のアクセシビリティを評価する日本産業規格(JIS X 23761)を制定しました。この規格と対応する国際規格(ISO/IEC 23761)が、日本提案で規格化されたことを受け、同国際規格との整合性を図るため JIS の制定を行ったものです。

今回の制定によって、視覚障害や発達障害などの理由により印刷された書籍を読めない人が、自分にとってアクセシブルな電子書籍を入手することが容易になることが期待されます。

1. 制定の必要性と背景

視覚障害や発達障害などの理由により、印刷された書籍を読めない人が、読書を行うことができる社会は、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」の目指すところであり、その実現には、電子書籍が重要です。

印刷された書籍を読めない人でも読むことのできる電子書籍をアクセシブルな電子書籍といい、表示のしかたを調整（拡大する等）したり、音声で読み上げたりすることによって、読みやすくなることができます。

電子書籍ファイルフォーマットの EPUB は、国内の電子書籍の多くで採用されていますが、そのなかにはアクセシブルが十分ではない EPUB 電子書籍も存在しています。

そこで EPUB 電子書籍がアクセシブルかを評価し、評価結果を明示するために作成された仕様が、EPUB アクセシビリティです。この EPUB アクセシビリティの ISO/IEC 国際規格化を日本から 2019 年に提案し、賛成を得て 2021 年に ISO/IEC 23761 として出版されました。この対応 JIS 規格として、今回 JIS X 23761 を制定しました。

2. EPUB アクセシビリティの規定内容

JIS X 23761 は次の二つを規定します。

- EPUB 書籍がアクセシブルであるために必要な要件
ページナビゲーション、メディアオーバーレイズの再生（テキストと音声を同期）、他
- 要件をどこまで満たしたかを示すためのメタデータの定義
アクセスモード（視覚、聴覚、触覚等）、アクセシビリティ機能（代替テキスト、キャプション等）、他。メタデータの詳細については EPUB Accessibility Techniques を参照。

3. JIS 制定の期待効果

この JIS 規格の制定によって、各 EPUB 電子書籍がどこまでアクセシブルなのかを出版側にも利用者にも把握できるようになります。出版側は、EPUB 電子書籍がどこまでアクセシブルかを意識する機会になるとともに、印刷された書籍が読めない人が、自分にとってアクセシブルな電子書籍を入手することが容易になることが期待されます。

※日本産業標準調査会（JISC）の HP (<https://www.jisc.go.jp/>) から、「X23761」で JIS 検索すると本文を閲覧できます。

【担当】 経済産業省 産業技術環境局 国際電気標準課 (e-mail: s-iec@meti.go.jp, 03-3501-9287)
(課長) 武重 (担当) 森田、宇賀山、千住